

あくび標本集

コマツシンヤ作品展



「アングレーム国際漫画祭2024」の審査員特別賞に輝いた高知出身のまんが家・イラストレーターであるコマツシンヤさんの作品展を開催します。

「アングレーム国際漫画祭」は、漫画界の「カンヌ」とも呼ばれる欧州最大級のまんがの祭典で、2024年1月に開催された第51回となる同漫画祭の児童向け部門において、コマツさんが描

いたまんが作品『午後のあくび』が最上位に次ぐ審査員特別賞に選出されました。

今回の作品展では「平和で詩的」と評された創造性／想像性に富んだ世界観を描く『午後のあくび』はもちろん、初期のまんが作品から近著まで、さらに絵本や小説の挿絵・装画、イラスト



イラスト：コマツシンヤ

コマツさんの作品の多くはアナログで描かれていますが、ご来場の際は肉筆による熱量をぜひ感じていただきたいと思っています。そのほか、コマツさんがコレクションした、逸品や、ご自身がレンズを向けた写真なども併せて展示します。コマツさんの創作の一端に触れ

られる作品展となります。世界が賞したコマツさんの作品を一挙に鑑賞できるまたとない機会となります。ぜひご来場ください。

つくちゃん

横山隆一
(1959年)



期 間 ● 2024年7月27日(土)～9月16日(月・祝)

月曜休館(8月12日・9月16日は開館)

時 間 ● 10:00～17:30(企画展最終入場17:00)

観覧料 ● 一般500円、高校生以下無料

※65歳以上の方、及び身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者とその介護者(1名)は、割引料金(250円)を適用

※企画展の観覧者は、常設展示を割引料金(200円)で観覧可

※20名以上で利用の際の団体割引、学校利用割引(400円)設定あり

主 催 ● 高知市・横山隆一記念まんが館

主 管 ● 公益財団法人高知市文化振興事業団

Face Avenue

— 結成92年の漫画集団・「昭和の名作」展 —

1932（昭和7）年に横山隆一を中心メンバーの一人として結成された「新漫画派集団」は、漫画を描く若者たちが集まって、雑誌や新聞社に営業をかけるためのグループでした。戦争を経て、このグループを前身として1945（昭和20）年に新たに結成された「漫画集団」は、イベントや合同展、旅行などを行う一流漫画家たちの親睦団体へと変化していきました。

今回、展示しているのは、「漫画集団」50周年の1982（昭和57）年に描かれた「フクちゃん」や「アンパンマン」「アトム」「バカボンのパパ」など昭和を代表する人気まんがのキャラクターや似顔絵、漫画家の自画像などの「顔」を描いた作品50点に加え、漫画集団員の作品を大判に拡大印刷した「巨大縦長漫画」ほか25点の75点です。

これらの作品は、2002（平成14）年横山隆一記念まんが館の開館オープニング企画「漫画集団70周年展」で展示した作品の一部で、今回22年ぶりの公開です。

企画展の名称「Face Avenue」は、ニューヨーク5番街「Fifth Avenue」を振ったもので、その名の通り「通り（Avenue）」をイメージして壁を配置し、まるでウインドウショッピングを楽しむように「顔」作品を鑑賞していただけるよう、空間を工夫しました。

「顔」シリーズは縦横86センチ、「巨大縦長漫画」は全長約3メートルもあります。まんがの展示としては滅多にない大きなサイズの作品が一堂に並べられているのは、中々の迫力です。



期 間 ●2024年4月25日（木）～7月15日（月・祝）
月曜休館（4月29日・5月6日・7月15日は開館）
観覧料 ●常設展示の観覧料でご覧になれます
主 催 ●高知市・横山隆一記念まんが館
主 管 ●公益財団法人高知市文化振興事業団

第20回
まんがの日
記念

作品募集中

「フクちゃん」を代表作とする横山隆一が、4コマまんがの名手であったことや、ストーリーまんがが全盛の時代に起承転結を基本とする4コマまんがの良さを見直しているという趣旨のもと、故やなせたかしさんのご支援をいただき2005年に始まったこの賞も、今回で20回目となります。20回を記念して今回は、一般部門の一次審査を通じた中高生の中から3名に、まんがの画材セットをプレゼントする「20回記念賞」を設けました。審査は高知のまんが家、矢野徳さん、くさか里樹さんが務めます。

みなさんの力作をどうぞ応募ください。

応募・
お問い合わせ先

〒781-9529 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかほり内 横山隆一記念まんが館
TEL: 088-1883-15029
FAX: 088-1883-15049
URL: <https://www.kfca.jp/mangakan/>

部 門	一般部門（中学生以上）・ジュニア部門（小学生以下） *プロ・アマ不問
応募規定	・白黒またはカラーの4コマまんが（肉筆原稿） ・用紙：B4判（縦25.7cm×横36.4cm）の市販のケント紙、画用紙、まんが用原稿用紙など ・作品：縦32cm×横10cmの「縦4コマ」形式 ・自作の未発表作品に限る ・1人につき3点以内 ・AIの使用やデジタル作画、複数人での共同作品は不可 *詳細はまんが館ホームページをご覧ください。
締 切	9月5日（木） 消印有効
発 表	11月3日（日・祝） まんが館ホームページ・館報「FUKU-FUKU」等で発表
表彰式	12月開催予定の「入賞作品展」開催中に実施予定

《賞金・記念品》

賞（点数）	一般部門	ジュニア部門
フクちゃん大賞（1点）	賞状・賞金50万円	賞状・図書カード2万円
高知市長賞（1点）	賞状・賞金10万円	賞状・図書カード1万円
やなせたかし賞（1点）	賞状・賞金10万円	賞状・図書カード1万円
よさこい賞（3点）	賞状・賞金各5万円	賞状・図書カード各5千円
20回記念賞（3名） ※中高生に限る	賞品（アイスクリームイラストキット コピックチャオスタート12色セット）	—
学 校 賞（2校）	—	賞状・トロフィー

英訳本『FUKU-CHAN』の発行について



横山隆一の代表作「フクちゃん」は昭和11（1936）年に東京朝日新聞の連載4コマまんがとして始まって以来、昭和46（1971）年に毎日新聞で連載を終えるまで、戦中戦後を通して掲載紙やタイトルを変えながら、また絵本の形などでも発表され続けた。また、新聞連載終了後もテレビアニメ化されたり、絵本や全集として新たに出版されたりしていた。

そんな「フクちゃん」の中で、外国人向けに、出版された本が1冊だけある。終戦後の昭和21（1946）年12月に日本で発行された英訳本『FUKU-CHAN』である。



『FUKU-CHAN』奥付

この本について2023年にアメリカから3件の問い合わせが立て続けにあった。彼らの問いに答える中で調べたことについて、共有したい。

この本の編集・発行者は澁澤多歌子、発行所はタカラクラブとなっている。澁澤多歌子はこのタカラクラブの発起人で会長である。クラブは英訳フクちゃんを発行して、日本の子ども達を外国の人たちに紹介し、この売上で日本の戦災孤児たちの救済資金としたいと計画した。多歌子がフクちゃんを出版に選んだ動機は本書後書きに書かれている。フクちゃんは日本の庶民の子どもたちの代表といってよく、そのような可愛らしい日本の子ども達を進駐軍の人たちに紹介したい、敗戦後に進駐軍がよく見かける、ボロを着て、うるさく物乞いする日本の子どもの姿は本来のものではないのだという思いがあったためである。

隆一は「昭和21年の正月に多歌子が依頼に訪れた。孤児救済をするためという趣旨に賛同し引き受けた。英訳フクちゃんには10年前のもの、1年前のもの色々あり、それを全部外国向けに書き直した。」と新聞のインタビューに答えている。（日本の新聞・昭和22年発行、詳細不明）また、本書後書きには注書きとして「戦争に関係のある作品と、アラクマさんの登場するのを入れないことにしました」とあり、終戦を機に日本の体制、思想が大きく変わったことを明示している。

タカラクラブは、キリスト教社会運動家で日本社会党の結成にも参画し、マッカーサーに日本の民間人として最初に面会したと言われる賀川豊彦を顧問として昭和20年に結成された。新聞紙面では「若い婦人のグループ」であり、新橋の第一ホテル、軽井沢の万平ホテル、京都に4カ所の進駐軍お土産品売場を経営した利益で孤児の救済を行っていたと報じられている。（前出の日本の新聞・詳細不明）また、多歌子がホノルルに立ち寄った時の紹介記事を載せているHawaii Times（1948年9月13日）では、多歌子は「渋沢栄一元子爵の妹の孫・渋沢亨三の妻」で、テキサス女子大学を卒業しており、タカラクラブには三笠宮妃など皇族も参加している、上流階級の女性たちが新時代の活躍を目指して慈善活動を行う団体と紹介している。

クラブの活動期間は当初より10年間と決めており、その間、前述の土産物販売の他、パーティーを50回ほど開催して、その会費から孤児たちの育英資金を寄附している。多歌子は、昭和58（1983）年には外国人留学生のための日本語及び日本文化研修施設「学校法人青淵塾澁澤国際学園」を設立するなど平成元（1989）年に亡くなるまで生涯社会貢献事業に携わっている。

さて、本書の表紙には「No.1」とあり、後書きにもフクちゃんの2号、3号を発行すると書かれているが、その存在は確認できず未刊に終わったものと考えられる。



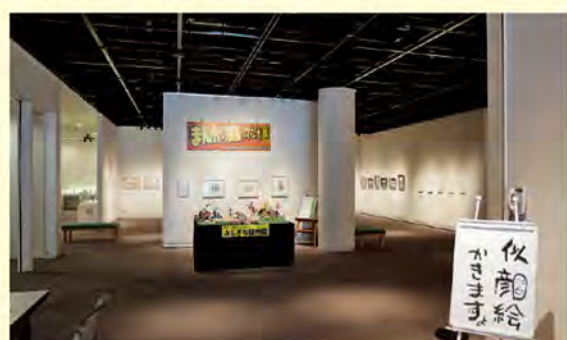
『FUKU-CHAN』表紙

進駐軍の兵士たちにお土産として購入され、海を渡った『FUKU-CHAN』がアメリカのオークションサイトで販売されたり、元兵士の遺品として問い合わせを受けたりしている。第二次大戦を体験した世代が世界中で終わっていく。



（作：横山隆一）

また、会期中の土曜日・日曜日・祝日には、恒例のチャリティー似顔絵コーナーも開催。素早く描かれる似顔絵にお客さんは感動していました。



今年で21回目を迎えた高知漫画集団と高知漫画グループくじらの会による合同作品展「まんが・漫画・マンガ展！2024」を開催しました。お馴染みの合作ジオラマは「ふしぎな植物園」をテーマに、まんがの発想の植物たちが並びました。「ふしぎな植物」を合同競作テーマとして描かれたまんが作品や、「まんが」を主軸に置きながらも流行や話題性を取り入れ、出品者それぞれの得意分野で表現された作品の数々は、見どころ溢れるものでした。近年の「交流コーナー」はいつも応募して下さる方たちの作品が並び、一般の方との交流が図れていて有意義なコーナーとなっていました。

期間 ● 2024年3月16日（土）～3月31日（日）
場所 ● 横山隆一記念まんが館企画展示室

まんが・漫画・マンガ展！2024
高知漫画集団・高知漫画グループ
くじらの会合同作品展



行事案内 INFORMATION

2024夏休み まんが体験イベント 「めざせ！まんが職人」

タイトル	開催日
まんが風鈴をつくろう！	7月30日(火)
まんが水族館をつくろう！	7月31日(水)
ぱっくんアニマルをつくろう！	8月3日(土)
まんが万華鏡をつくろう！	8月4日(日)
まんが動物園をつくろう！	8月16日(金)
まんが石けんをつくろう！	8月17日(土)

場 所 ● 横山隆一記念まんが館 まんがライブラリー2
対 象 ● 小学生
定 員 ● 各コース30名
参加費 ● 500円(材料費含む)



申し込みフォームはこちら

申し込みフォームから、①希望コース
番号②児童氏名③ふりがな④学校名⑤
学年⑥メールアドレス⑦日中連絡が取
れる電話番号を入力の上、7月7日(日)
までにお申し込みください。定員を超

えた場合は抽選により参加者を決定しますので予めご
了承ください。

行事報告 REPORT

「こ」まんさい & MEGAマン研 開催！

こうちまんがフェスティバルの関連イベント「こ」まんさい
2024とMEGAマン研が今春も開催されました。

3月2日(土)・3日(日)、「土佐の「おきやく」」の商店街イ
ベントの一つとして参加している「こ」まんさいでは、缶バッ
ジなどを作ることができる恒例の体験コーナーが設けられまし
た。参加者は高知ゆかりのキャラクターがデザインされた缶バッ
ジや、まんさいオリジナルペーパークラフトを作成しました。

また、4月13日(土)・14日(日)には、仲間と集まり自由にま
んがを描いて楽しむことを目的としたイベント「MEGAマン
研」を開催しました。まんがの描き方やストーリー作りの指導
のほか、原稿の持ち込みや印刷関係の相談もあり、マン研な
らではの賑わいを見せていました。今回は10月に開催予定で
すので、これからまんがを描いてみたい、という方もぜひご参
加ください。

行事案内 INFORMATION

先生注目！ 教員のための博物館の日 in 横山隆一記念まんが館

開催日 ● 2024年8月20日(火)25日(日)の
うち、好きな日程(要予約)
対 象 ● 幼児・小・中・高・特別支援学校の教職員
お申し込み ● 電話、FAX、メール

「教員のための博物館の日」は、
先生と博物館の
(心の?)距離を
縮め、授業や学習
に役立ててもらつきたいために、2008年に国立
科学博物館で始まった取り組みです。

横山隆一記念まんが館では、今回8月下旬の1週間開催しま
す。先生方の都合が良い日、時間にご参加いただけます。内容は、
展示の観覧、「まんが」を使ったワークショップ体験のほか授業
への活用方法の相談など。

展示の観覧のみであれば、お好きなときにお越しください。
展示の解説が必要な場合と、その他ワークショップや相談は、
開始の1週間前8月13日までに電話、FAX、メールで予約を
お願いします。

館のご案内

開館時間 9:00~18:00
休 館 日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)
年々年始(12月28日~1月4日)
常設展示観覧料
一般410円
団体(20名以上)320円・65歳以上200円・高校生以下無料
身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保
健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円
お問い合わせ先
〒781-9529 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかるぼーと内
横山隆一記念まんが館
TEL:088-883-5029
FAX:088-883-5049
URL:https://www.kfca.jp/mangan/
E-mail:mangan@kfca.jp



横山隆一記念まんが館へは、
高知市文化プラザかるぼーと
3階の入口よりご入場ください。

新着図書(2024年2月~4月)

高知出身まんが家
『くりことびより』2巻 雪本愁二
『異世界帰りの勇者は、ダンジョンが出現した現実世界で、インフルエンサーになって金を稼ぎます!』1~3巻 大崎ペコ丸(作画)、Y.A(原作)
『深夜食堂』27、28巻 安部夜郎
『きらきら、あおい』1巻 ito
オススメピックアップ!
『ダンジョン飯』1~13巻 九井諒子
『黄泉のツガイ』1~6巻 荒川弘
『デッドデッドデーモンズデデデデストラクション』1~12巻 浅野いにお
『推しの子』1~13巻 横槍メンゴ(作画)、赤坂アカ(原作)
その他、続々入荷中!

フク話内

まんが館に転職して、はや七か月が過ぎました。上司や先輩に仕事を教わりながら、企画展やイベントのお手伝いをしています。こうした仕事の経験は初めてですが、実際に携わってみると博物館ならではの専門性や利用者への配慮にとても驚かされます。私はこの他に収蔵品のデジタルアーカイブを進めています。当館には昭和時代の貴重な資料(原画、原稿、作品、コレクションなど)が多数収蔵されていますが、この取り組みによって、普段は展示していない資料をインターネットで検索・閲覧できるようになります。ぜひ一度、ホームページをご覧になってください! (益)